
山陽小野田市立山口東京理科大学

防災マニュアル



< 第2版 >



公立大学法人 山陽小野田市立
山口東京理科大学
Sanyo-Onoda City University

山陽小野田市立山口東京理科大学

防災対策基本方針

1 学生の生命及び身体を最も優先して保護します

2 被害の最小化及びその迅速な回復を図ります

3 起こり得る災害に対し可能な限りの備えを行います

4 教職員・学生の防災に対する意識を高めます

5 危機管理体制を定期的に見直しを行います

C O N T E N T S

■	はじめに	2
I	地震発生時の対応	3
II	大地震発生後の対応	8
III	安否の確認	9
IV	火災発生時の対応	10
V	津波からの回避	12
VI	弾道ミサイル落下からの回避	13
VII	参考となる情報	14
	1. 日頃から準備しておくこと	14
	2. 家族・友人間の安否連絡の方法	15
	3. 山陽小野田市の広域避難所	16

はじめに

このマニュアルは、災害発生時に学生及び教職員がとる基本的な行動基準を示すものです。

山陽小野田市周辺の断層により起こりうる地震や、南海トラフ地震など、震度6弱以上の大きな地震が発生した際に身を守るための対応のほか、津波、火災など災害時の対応方法をまとめています。

本学の校舎は、震度6弱程度の地震で大きな被害を受けることはありませんが、公共交通機関・電気・ガス・水道等のインフラが被害を受けることにより、学生生活に大きな支障をきたす可能性があります。

ぜひ、このマニュアルの内容を理解し、日頃からの防災意識を高め備えをしましょう。

山陽小野田市立山口東京理科大学
防災管理委員会



I

地震発生時の対応

地震が起きた時にまずどうする

●災害「地震」発生時の初動マニュアル

直前

緊急地震速報がでたら、周りの人に知らせ、身を守る準備！
火元を止める。安全な場所へ避難、机の下などへ

発生

- 1 先ず、身を守る！
机の下などへ

- 2 すばやく火の始末！
ガスの元栓、コンセント、実験器具

- 3 非常脱出口の確保！
ドアを開ける

発生後
1～2分

- 1 火元を確認！
火が出たら、落ち着いて初期消火

- 2 同室の人の安全を確認！
倒れた書庫などの下敷きになっている人がいないかを確認、けが人の確認

- 3 作動中の実験装置などの停止！

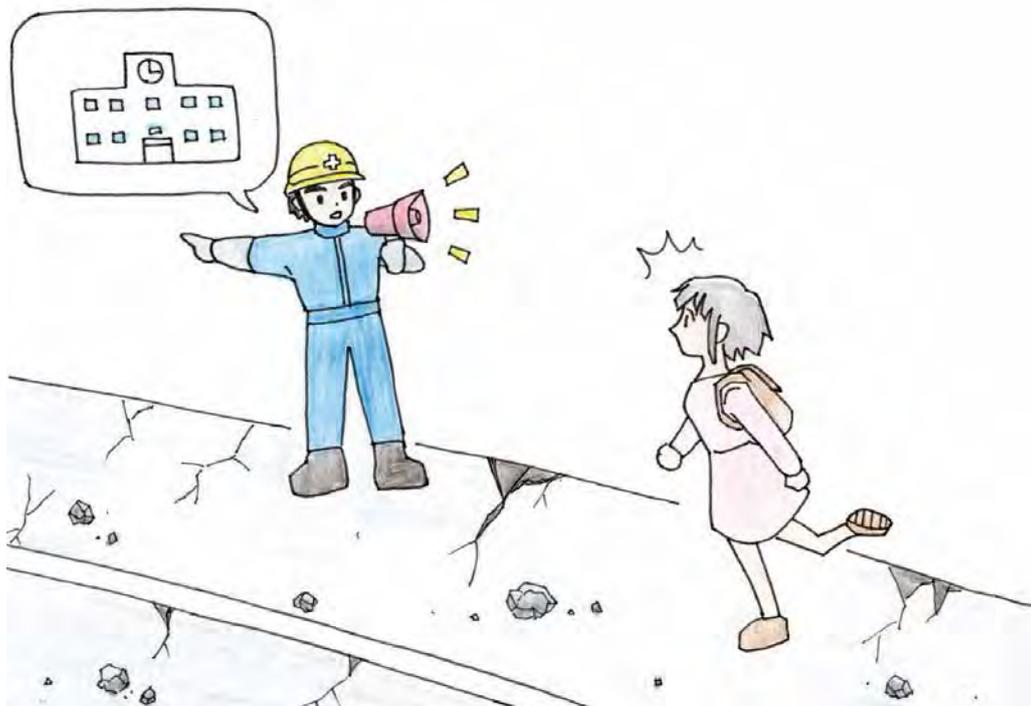
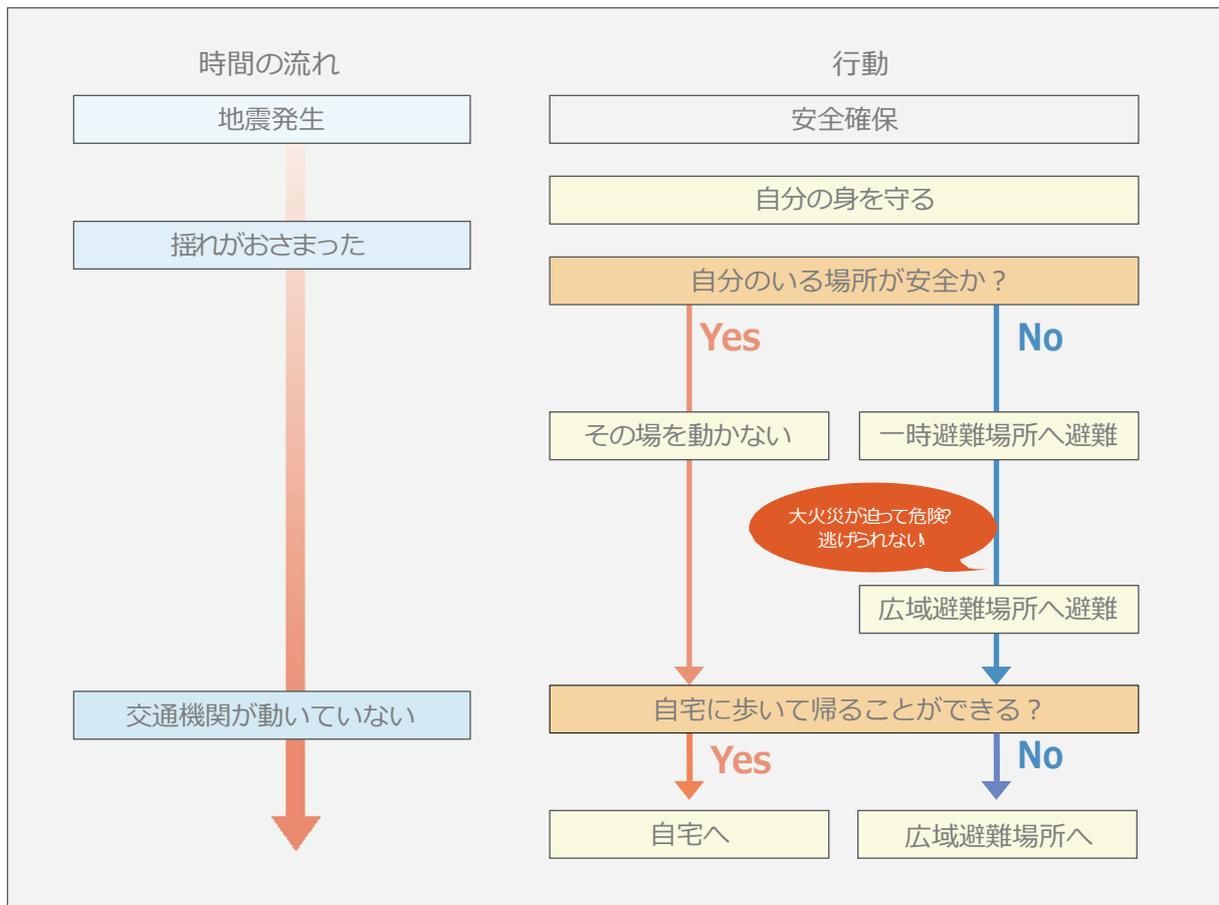
発生後
3分

- 1 隣接する部屋で助け合う！
他の部屋・教室などで倒れた書庫などの下敷きになっている人がいないか確認

- 2 余震に注意！
建物の状況により、余震で倒壊する恐れのある場合は、指定の避難場所へ移動

- 3 津波警報に注意！
津波警報の発令を確認し、安全な場所に避難

1 地震発生から避難まで



2 地震が発生した瞬間の対応

- 窓や棚のように、ガラスが割れたり中のものが飛び出しそうな場所から離れましょう。
- 机の下などに潜るか、バッグ・衣類などで頭を覆うなどして、ガラス、黒板、テレビモニター、蛍光灯等の落下物から頭と手足を守りましょう。
- 余裕があれば、ドア付近にいる人は、ドアを開け、出口の確保をしましょう。
- 火気を使っている時は、火を消しましょう。また薬品などから離れましょう。
- 広場やグラウンドなど、落下物が無い場所にいる場合は、その場で座り込み揺れがおさまるのを待ちましょう。

● 教室にいる時

- 速やかに机の下などに身体を隠す。
- 落下物、倒壊物、窓ガラスの破片等から身体を守る。
- 教室のドアを開け出口を確保する。



● 屋外にいる時

- 運動場の中央付近など落下物の危険のない場所に避難し身をかがめる。



● 体育館にいる時

- 直ちに体育館の外に避難し、落下物の危険のない場所に避難する。

● 実験室・研究室に いる時

- 火源・熱源を遮断する。
- 機械・設備を停止し、適切な安全措置を行う。
- 薬品や危険物の取り扱いに注意する。
- 火災が発生した場合は、地震の揺れがおさまる次第、初期消火を行う。初期消火が不可能と判断した場合は、速やかに部屋のドアを閉めて避難する。



● 図書館にいる時

- 本棚から離れて、速やかに机の下などに身体を隠す。
- 地震の揺れがおさまる次第、速やかに指定の避難場所に避難する。



● エレベーター内 にいる時

- すべての階のボタンを押し、停止した階で降りる。
- 途中で停止した場合は非常用ボタン又はインターホンで外部に救助を求める。



3 揺れがおさまった後の対応

1 自分自身の心構え

- 冷静に落ち着いて行動してください。
- 建物は大丈夫か、火災は起きていないか、負傷者はいないかなどを確認してください。
- 火災の場合、負傷者がいる場合は、最寄りの事務室、研究室、警備員室に連絡してください。
- 火災、負傷者がいる場合は、自分の身が安全な範囲で初期消火、応急手当をしてください。

2 自分が負傷した場合の対応

- 大声をあげて助けを呼びます。
- 自分の存在・生存を明らかにしましょう。
- 携帯電話を使って、外部と連絡するよう努めましょう。
- 声が出なければ、何らかの手段で大きな音を出すなど、周囲の人に気づいてもらえるように試みます。

3 生存者を捜す場合の対応

- 大声を出して生存者に呼びかけます。
- 発見した場合は、すぐに救助を始めるとともに大声で周囲に協力を呼びかけます。

4 避難するかどうかの判断と行動

a 判断する時のポイント

- 室内の状況確認：備品が倒れ散乱していないか、薬品が漏れたり、流れ出ていないかなどを確認してください。
- 他の教室の状況確認：周囲の教室や部屋の状況を確認してください。非常放送があった場合は、その指示に従ってください。
- 建物の状況確認：建物が傾いていないか、壁にひびが入ったりしていないかなどを確認してください。
- 火災の状況確認：火災が起きていないか、起きていれば消火できるかどうかを判断してください。
- 以上のポイントが安全と確認できた場合は、とりえず指示があるまでその場を動かないでください。

b 行動に移す時のポイント

安全が確認できない場合は、次の通り行動してください。

- 火災が起きている場合は、避難する前に、タオルやハンカチで口を覆います。
- どのルートで避難すれば安全か確認します。
- エレベーターは使わず、階段を使用します。
- 押し合うなど周囲の人の安全を脅かさないように注意します。

5 発生後3分経過後の対応

a 余震への備え

- 避難ルートの確保：大きな地震には必ず大きな余震があります。窓やドアを開け、避難ルートを確保します。

b 火災防止への対応

- ガス漏れ対策：2次災害を防ぐためにガスの元栓を閉めます。
- 電気・火災への対策：配電盤のある研究室・実験室はスイッチを切ってください。電気器具はスイッチを切り、プラグを抜きます。

4 一時避難場所〔避難マップ〕

避難場所は、広く、火災による延焼の恐れがないところが適しています。

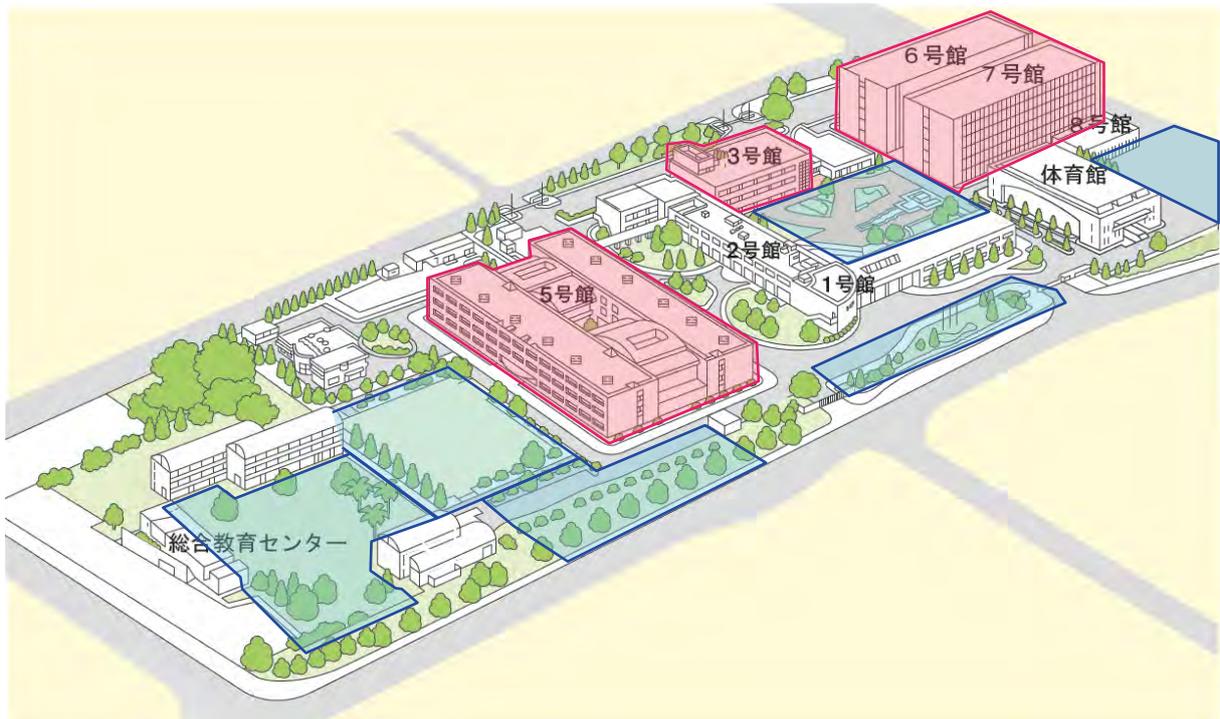
本学ではあらかじめ以下の場所を一時避難場所として想定していますが、地震時の状況により安全な場所に避難してください。

※ 一時避難場所とは一時的な集合場所、広域避難場所は大規模な火災などが起きた場合に避難する場所です。

○地震・火災発生時一時避難場所



○津波警報時一時避難場所



○津波一時避難場所の海拔

3号館の屋上階：約17m（海拔約3.8m、建屋13.2m）

5号館の屋上階：約15.5m（海拔約3.3m、建屋12.2m）

6号館の屋上階：約24m（海拔約3.5m、建屋20.5m）

7号館の屋上階：約24m（海拔約3.5m、建屋20.5m）

Ⅱ

大地震発生後の対応

帰宅するか・残るか

1 自宅がキャンパスから20km以内の人は帰宅

徒歩で帰宅する目安は、自宅がキャンパスから20km以内であるかどうかです。地震の規模、起きた時間、交通機関の状況、自身の体調や体力によって臨機応変に決めてください。

- 原則として徒歩で帰宅する。
- 繁華街など、人が集中する場所を通らない。
- 幹線道路を通る。また、複数の帰宅経路を想定しておき、安全な経路を選択する。
- 避難する際は液状化による道路の段差や亀裂に注意する。

2 自宅がキャンパスから20kmよりも遠い人は避難所へ

① 避難所の利用

自宅がキャンパスから20kmよりも遠い人は、徒歩による帰宅を見合わせ、大学が用意する避難所か、最寄りの避難所を利用してください。

ただし、地震の規模、起きた時間、交通機関の状況、自身の体調や体力により臨機応変に判断してください。大学が避難所を開設した場合、校内放送などでお知らせします。1日～数日程度様子を見て、交通機関等の復旧状況により、帰宅するかどうか判断してください。

② 避難所運営

大学が避難所を開設した場合、大学の備蓄物資や水の運搬、避難所運営などの手伝いを学生にお願いすることもありますので、ご協力ください。



Ⅲ

安否の確認

安否・休講・授業再開・ボランティア活動について

1 安否報告

大規模災害発生後、速やかに大学に対して安否を知らせてください。

① UNIPA による安否報告

大規模災害が発生し、大学から学生全員に電話をかけ安否を確認することが困難な場合、本学では、学生ポータルサイト UNIVERSAL PASSPORT (UNIPA) の「安否確認」を活用して、学生全員に一斉メールを配信し、学生からの返信によって短期間に安否を確認するシステムを導入しています。

大学から UNIPA による安否確認を受信しましたら、速やかに安否確認の回答を送ってください。

② メール・FAX・電話による安否報告

- UNIPA を利用することができない場合は、メールで以下の内容を報告して下さい。

緊急用メールアドレス kyomu@admin.socu.ac.jp

【タイトル】「安否報告」

【内 容】 ◇学部・学科・大学院 ◇学籍番号 ◇氏名 ◇本人や家族の負傷の有無
◇自宅の損壊状況 ◇連絡の取れる電話番号・住所

- メールの使用ができない場合は FAX 又は電話で上記の内容を報告して下さい。

教務課 1号館 FAX 0836-88-3400 電話 0836-88-3500

★入学と同時に自分の携帯に登録しておくといよ。

2 家族との安否連絡

家族との安否連絡は、NTT の災害用伝言ダイヤル、携帯電話による情報登録検索、インターネットによる情報登録検索などを使ってください。利用方法の詳細は、「家族、友人間の安否連絡の方法」を参照してください。日頃から、震災時にどのように連絡を取るのか決めておくといよいでしょう。

3 休講・授業再開

休講や授業再開のお知らせは、決定後速やかに、大学のホームページ・UNIPA 又は新聞などのメディアを通じてお知らせします。

4 ボランティアへの参加

災害復興のボランティア活動に無理のない範囲で参加ください。

- 善意からであっても、必ずしも良い結果を生むとは限りません。常に自制心を持って行動しましょう。
- 活動の中にもやりがいや喜びを見つけ、根を詰め過ぎずに、時には気分転換も図りましょう。
- いくら依頼されても、危険なことやできないと思うことには、断る勇気を持ちましょう。
- 自分の生活に支障をきたさない範囲のスケジュールで、無理のない活動をしましょう。
- ボランティアに参加する場合は、「ボランティア保険」に必ず加入しましょう。

IV 火災発生時の対応

火災が起きた時にまずどうする

●火災発生時の初動マニュアル

行動と判断

火災発生 通報

「火事だ！」と大声を出し、まわりに知らせる

非常ベルのボタンを押し
ベルを鳴らす

正確に 119 番に通報する

(例) 火事です。山口東京理科大学です。
「大学の○号館○階が燃えています」

初期消火

火はどの程度燃え上がっているか

天井には届いていない

天井まで燃え移っている

協力者と一緒に消火

鎮火

炎上

消火しないで避難

避難

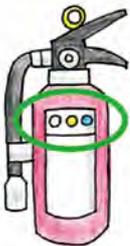
煙を吸わないように注意し、落ち着いて避難

できればガスの元栓と電気ブレーカーを落としてから避難

応急手当

やけどやケガをした場合は、保健室で応急手当を

1 消火器の使い方



火災は燃焼する物質により3つに分けられます。

A.火災（普通火災）
木材、紙、繊維などが燃える火災

B.火災（油火災）
石油類その他の可燃性液体、油脂類などが燃える火災

C.火災（電気火災）
電気設備・電気器具などの火災

消火器は適応できる火災をそれぞれのマークで表示してあります。



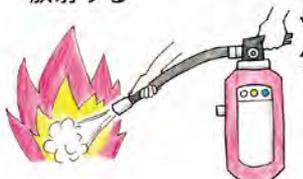
①安全ピンを上引っ張る
ように抜く



②ホースを外してノズルを
火元に向ける



③レバーを強く握って液を
放射する



2 初期消火のポイント

判断のポイント

- 出火から3分以内、炎が天井に燃え移る前であれば消火できる可能性があります。瞬時に判断し、落ち着いて素早く行動します。消火が困難と判断したら、速やかに屋外に避難しましょう。

119番通報のポイント

- 火災を発見したら「火事だ！」と大声を出して、まわりの人に知らせ助けを求めます。声が出ない時は音が出るものを叩くなどして大きな音を出しましょう。
- 小さな火事でも非常ベルを鳴らし、ただちに119番通報をしてください。

**119番は
落ち着いて**

火災現場の位置と目標を正しくはっきりと伝えます。

(例) 「火事です。山口東京理科大学です」
「大学の○号館の○階が燃えています」

3 研究室での注意点

実験系の研究室、実験室などにおいては、次の点について留意をお願いします。

- 燃焼物の種類によって適切な消火器を使用してください。そのためにも、日頃より燃焼物の種類によって適切な消火器を把握しておく。
- ドラフト内の火災は、有毒ガス、煙の発生を伴うなどの特殊な場合を除き、原則として換気を止めて消火する。
- 可燃性ガスボンベからガスが噴出し発火した場合は、周囲の可燃物を除去してから注水、消火する。
- 有毒ガス発生のおそれがあったり、煙が多量に発生する場合には、できるだけ風上側から消火する。
- 薬品をかぶった場合は、緊急シャワー等を利用して薬品を洗い流し、洗眼を行う。
- 火災の大きさ、有毒ガスや煙の発生などの状況によって、天井に炎が達し延焼しはじめた場合や素人の手に負えないと判断した場合には、すみやかに屋外に避難する。
- 避難にあたっては電源、ガス栓などを絶ち、危険物などの処理をできる限り行う。
- 避難ルートを確保するために、日頃から研究室前の廊下や踊り場には、物品を置かない。

V 津波からの回避

山口東京理科大学キャンパスでは津波に対する対応が必要です。

気象庁は、津波が起きるおそれがある場合、津波予報を発表します。津波予報には、津波の到達時間、区域、時刻、予想される高さなどが示され、警戒度によって「津波注意報」「津波警報」「大津波警報」に区分されています。

① 警報発令から避難まで

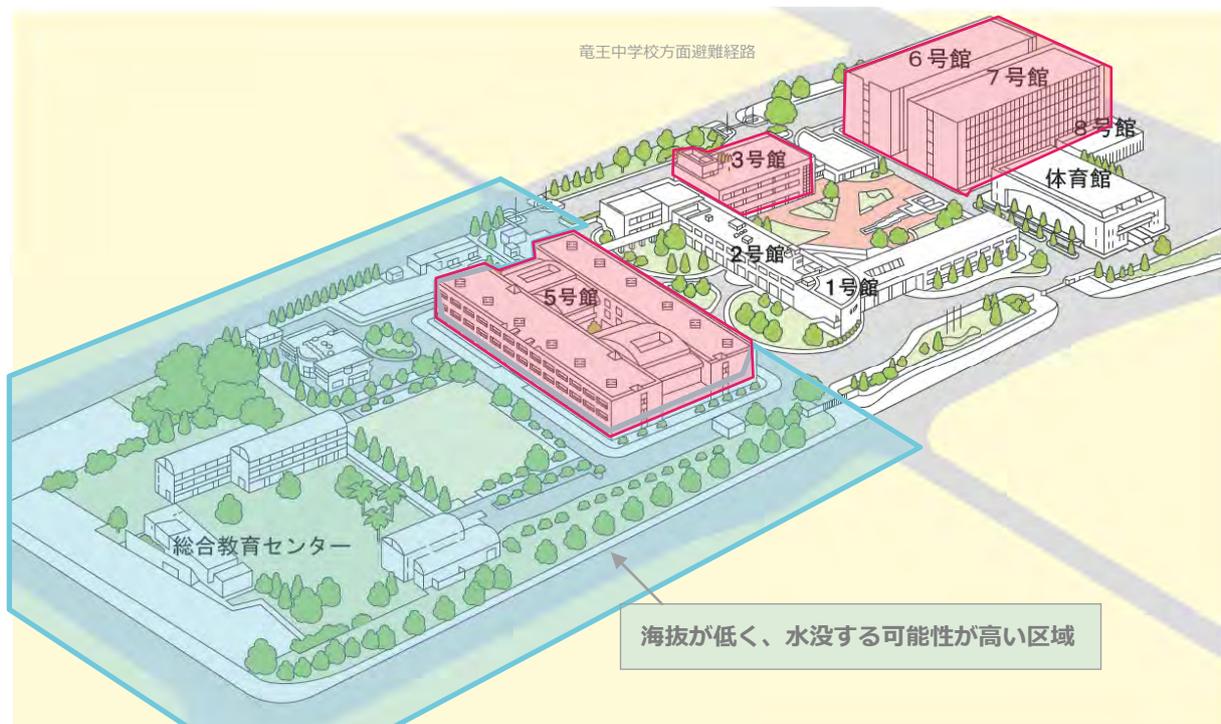
- 「津波注意報」が発令された場合は、注意報の内容やその後の情報に十分注意を払うとともに、避難経路や避難場所を確認してください。
- 「津波警報」「大津波警報」が発令されたら、安全を確保するため、ただちに6号館（5階建）、7号館（5階建）、5号館（3階建）、3号館（3階建）の上層階に避難してください。
- 学生宿舎からの避難が困難な場合は、学生宿舎の3階に避難してください。

② 津波が襲来してきたら

- まず、我が身の安全を真っ先に考えましょう。自分がケガをしては、避難できません。
- 津波が浸水を始めたら、遠くへの避難はあきらめ、建物のできるだけ高いところへ上がってください。浸水している中では、漂流物にぶつかるなど転倒する危険が大きく、避難できなくなることがあります。



○津波警報時一時避難場所



○津波警報が発令された場合は、液状化現象に注意しながら、できる限り、6号館・7号館の上層階へ避難してください。

VI 弾道ミサイル落下時の対応

●大学内における弾道ミサイル落下時の行動マニュアル

ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、J アラートを活用して、緊急速報メール等により緊急情報がお知らせされるとともに、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージが流れます。

<メッセージの例>

「直ちに避難。直ちに避難。屋内に避難してください。ミサイルの一部が落下する可能性があります。屋内に避難してください。」

メッセージが流れたら、落ち着いて、直ちに次の行動をしてください。

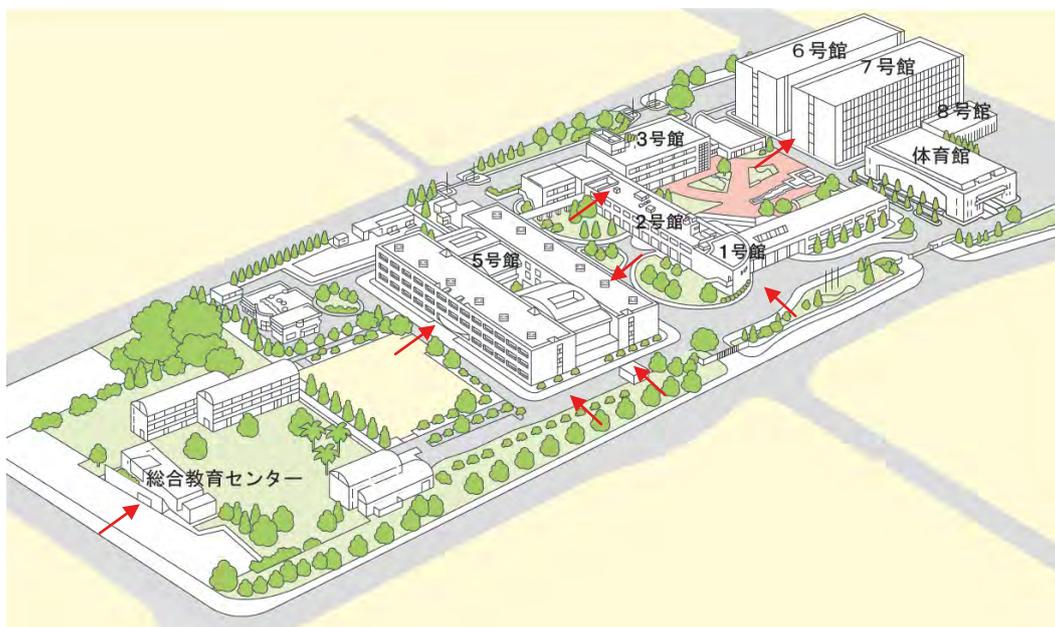
【屋外にいる場合】

口と鼻をハンカチで覆い、近くの校舎に避難してください。

校舎	避難先
1号館	1階ロビー、廊下
2号館	1階210、211、212教室
3号館	1階売店前
5号館	1階5104、5105教室、ワークステーション教室
6号館	1階事務室前、NMR室前廊下
7号館	1階711教室、712教室、713教室
総合教育センター	1階ロビー

【屋内にいる場合】

- ① ドア、窓をすべて閉め、換気扇、エアコンを止める。
- ② ドア、壁、窓から離れる。
- ③ 机の下などの物陰に身を隠し、床に伏せ頭部を守る。



Ⅶ 参考となる情報

1 日頃から準備しておくこと

① 教室・研究室・実験室等で準備しておくこと

- 最寄りの非常階段の位置はどこか。
- 最寄りの消火器の設置場所はどこか。
- イザという時に部屋から避難しやすいか。
- 一時避難場所や広域避難場所への避難経路を確認しているか。
- 自宅へ歩いて帰宅する場合の経路は決まっているか。
- 家族との連絡方法は決めているか。
(災害用伝言ダイヤルを使うとよい：「15頁の2・家族、友人間の安否連絡の方法」を参照ください。)
- 研究室の関係者の緊急連絡先は分かっているか。
- 薬品庫は収納された薬品が転倒しないようになっているか。
- ガス元栓や配電盤の設置場所はどこか。
- 高圧ガスのボンベの転倒防止はしてあるか。



② 自宅で準備しておくこと

- 照明、棚、たんすなどの転倒防止はしてあるか。
- 貴重品は安全な場所に保管してあるか。
- 避難場所を知っているか。
- 非常持出し品を準備しているか。
- 避難経路を決めてあるか。

非常用持出し品の例	
貴重品	現金、預貯金通帳、印鑑、免許証、権利証書、健康保険証
非常食品	乾パン、アルファ化米、缶詰、栄養補助食品、ミネラルウォーター
ラジオ	予備電池は多めに
懐中電灯	できれば1人に1つ、予備電池も忘れずに
応急医薬品	ばんそうこう、傷薬、包帯、胃腸薬、鎮痛剤、解熱剤、目薬、消毒薬、常備薬、ゴム手袋、ビニール袋
その他の生活用品	下着、上着、靴下、軍手、タオル、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、雨具、ライター、ビニール袋、生理用品

非常備蓄品の例（3日分程度が目安）	
飲料水	缶入りやペットボトルのミネラルウォーター（1人1日3ℓを目安に）
非常食品	乾パン、缶詰、レトルト食品、栄養補助食品、アルファ化米、ドライフーズ、インスタント食品、梅干し、菓子類、調味料
その他の生活用品	生活用水、毛布、寝袋、洗面道具、ポリタンク、鍋、やかん、バケツ、トイレトペーパー、使い捨てカイロ、ろうそく、さらし、ロープ、ボール、スコップ、ドライシャンプー、新聞紙、ビニールシート、布製ガムテープ、キッチン用ラップ、ペットフード

2 家族・友人間の安否連絡の方法

① 安否連絡について

家族、友人で安否連絡を取る方法を紹介します。あらかじめどのように連絡を取るかを決めておきましょう。また9ページに記載したように、安否連絡とは別に大学に対して安否の状況を報告してください。

② 災害伝言ダイヤルの使い方

a (自分の情報を相手に伝えたい時) = 伝言録音

「171」 + 「1」 + 「自分の電話番号」 + 「自分のメッセージ録音」

- ① 「171」をダイヤルする
- ② ガイドンスに従って「1」(暗証番号なし)をダイヤルする
- ③ 自分の電話番号をダイヤルする
- ④ 30秒以内で自分のメッセージを録音する

※ 暗証番号がある場合は

「171」 + 「3」 + 「4桁の暗証番号」 + 「自分の電話番号」 + 「自分のメッセージ録音」

b (相手の情報を聞きたい時) = 伝言再生

「171」 + 「2」 + 「相手の電話番号」 + 「相手のメッセージ再生」

- ① 「171」をダイヤルする
- ② ガイドンスに従って「2」(暗証番号なし)をダイヤルする
- ③ 相手の電話番号をダイヤルする
- ④ 相手のメッセージを再生する

※ 暗証番号がある場合は

「171」 + 「4」 + 「4桁の暗証番号」 + 「相手の電話番号」 + 「相手のメッセージ再生」

③ インターネットによる情報登録検索

新潟県中越地震では、インターネット上に安否情報を登録することができ、検索できるサービスや掲示板に情報を掲載するサービスが提供されました。大地震が発生した場合には同様のサービスが提供される可能性が高いと言えます。

主要な検索エンジンからリンクが張られますので、そのサービスを使う方法もあります。

④ 携帯電話による情報登録検索

災害発生時には、携帯電話各社より安否情報を登録検索できる「災害用伝言板サービス」がインターネット上に緊急開設されますので、活用してください。

NTT ドコモ	http://dengon.docomo.ne.jp
KDDI(au)	http://dengon.ezweb.ne.jp
SoftBank	http://dengon.softbank.ne.jp
Y!mobile	http://dengon.softbank.ne.jp

3 山陽小野田市の広域避難所

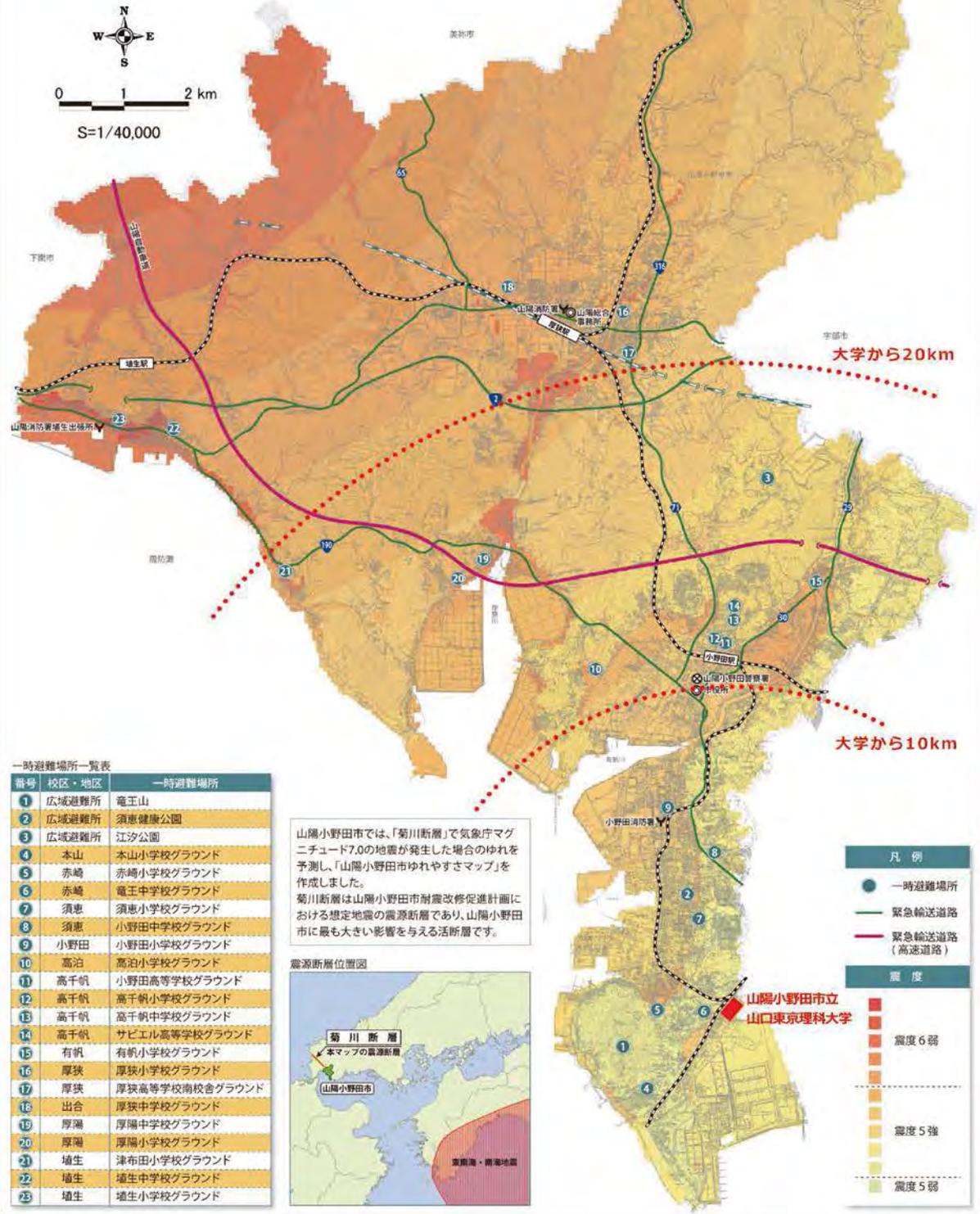
山陽小野田市 ゆれやすさマップ

～もしも菊川断層でマグニチュード7の地震が起こったら～

「地震防災マップ作成技術資料 平成17年3月 内閣府（防災担当）」により作成

地震防災マップ(ゆれやすさマップ)とは、地盤の状況とそこで起こりうる地震の大きさとの両面から、地域のゆれやすさを評価したものです。活断層からの距離が近いほど、ゆれは大きくなります。

距離が離れていても、表層地盤が軟らかいほど、ゆれは大きくなります。



山陽小野田市立山口東京理科大学
防災マニュアル

発行日 2019年9月(第2版)

責任者 山陽小野田市立
山口東京理科大学
防災管理委員会

印刷 有限会社 秋本印刷